



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 協栄産業株式会社
コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 水谷 廣司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 板垣 政昭
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3481-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	43,033	0.4	△181	—	△228	—	△381	—
25年3月期第3四半期	42,877	△6.6	133	—	△11	—	△156	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 428百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △82百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△12.52	—
25年3月期第3四半期	△5.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,131	13,448	36.2
25年3月期	35,519	13,112	36.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 13,448百万円 25年3月期 13,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	1.00	3.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	6.0	620	△20.9	560	0.2	300	79.6	9.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	31,935,458 株	25年3月期	31,935,458 株
26年3月期3Q	1,429,225 株	25年3月期	1,423,350 株
26年3月期3Q	30,509,471 株	25年3月期3Q	30,513,805 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和を背景に円高の是正、株価の回復が見られ、企業活動においても回復に向けた動きが出ております。

しかしながら、新興国経済の成長鈍化等の懸念もあり、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図りましたが、第2四半期までの厳しい状況をカバーするまでは至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は430億3千3百万円、前年同期に比べて0.4%の増収、営業損失は1億8千1百万円（前年同期営業利益1億3千3百万円）、経常損失は2億2千8百万円（前年同期経常損失1千1百万円）、四半期純損失は3億8千1百万円（前年同期四半期純損失1億5千6百万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(商事部門)

- ・売上高 343億3千2百万円 （前年同期比4.5%増）
- ・営業利益 4億4千6百万円 （前年同期比13.5%減）

商事部門においては、第3四半期は回復傾向で推移いたしましたが、第2四半期までの厳しい状況をカバーするに至りませんでした。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①半導体デバイス事業

半導体分野では、第3四半期も自動車関連が海外向けを中心に、白物家電関連もエアコン、冷蔵庫向けを中心に堅調に推移いたしました。また、回復の遅れていた産業機関連向けにも復調の兆しが見られたため、総じて堅調に推移いたしました。

電子デバイス分野では、セキュリティ関連向けモニタ等は堅調を持続しましたが、全体的には厳しい状況で推移いたしました。

②電子材料事業

電子材料事業は、コネクタ関連は、自動車関連が堅調に推移いたしましたが、スマートフォン向けの調整が長引き、その他民生向けも低調に推移いたしました。

半導体リードフレーム関連も自動車関連向けなどは堅調でしたが、全体的には低調に推移いたしました。

③FA・環境システム事業

産業メカトロニクス分野では、放電加工機、レーザ加工機は、第3四半期も引き続き好調に推移いたしました。

FA機器分野では、エレクトロニクス関連の装置メーカーからの受注により、回復傾向となりました。

環境ビジネス分野では、太陽光発電、省エネ関連の商談が長引き、苦戦いたしました。

(I T部門)

- ・売上高 33億3千6百万円 （前年同期比12.4%減）
- ・営業利益 2億3百万円 （前年同期比99.3%増）

I T部門においては、全体的に受注回復傾向で推移いたしました。

なお、I T部門では、9月及び3月に売上及び利益の計上が集中する傾向にあります。これは従来からの業界傾向であります。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①ビジネスソリューション事業

建設関連システムは、パッケージ販売は好調に推移しておりますが、システム開発の受注に苦戦いたしました。

エンドユーザー向けシステム開発は、主要ユーザーからの受注により順調に推移いたしました。

サービス提供型ビジネスは、タクシー向けのユーザー件数が増加傾向にあり、ホスティングサービスも順調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、主力の電力関連向けを中心に受注が堅調に推移いたしました。

②エンベデッドシステム事業

エンベデッドシステム系は、専用装置システム開発、専用ボードシステムは好調に推移いたしました。また、カーナビ開発も堅調でしたが、携帯電話開発は大幅に縮小いたしました。

監視制御システム系は、装置制御関連の受注は堅調に推移し回復傾向にありますが、公共業務関連の受託開発は低調に推移いたしました。

③IC設計事業

IC設計事業は、新規顧客の開拓を推進いたしましたが、十分な受注を確保できず、厳しい状況で推移いたしました。

(製造部門)

・売上高 53億9千5百万円 (前年同期比13.4%減)

・営業利益 1億8千7百万円 (前年同期比45.1%減)

製造部門においては、全般に堅調に推移いたしましたが、前年と比較すると減少いたしました。

プリント配線板事業

相模原工場では、モジュール基板が第3四半期も精密機器向け及びOA機器向けを中心に拡大基調で推移し、車載向けメタルコア基板も堅調に推移いたしました。

福島協栄株式会社では、第3四半期にアミューズメント向け基板に調整が入ったため、減速いたしました。

海外で行っているフレキシブル基板ビジネスは堅調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて16億1千1百万円増加し、371億3千1百万円となりました。

- ・流動資産は、商品及び製品3億1千1百万円の増加、電子記録債権2億8千2百万円の増加等により、3億8千7百万円増加し、300億9千4百万円となりました。
- ・固定資産は、投資有価証券9億8千2百万円の増加、有形固定資産2億1千7百万円の増加等により、12億2千4百万円増加し、70億3千6百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金5億5千5百万円の増加、短期借入金1億8千6百万円の減少等により、1億7千9百万円増加し、171億7千7百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金7億3千5百万円の増加、繰延税金負債2億7千9百万円の増加等により、10億9千6百万円増加し、65億4百万円となりました。

この結果、純資産は、3億3千5百万円増加し、134億4千8百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の36.9%から0.7ポイント減少し、36.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では平成25年10月29日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,761,970	7,860,845
受取手形及び売掛金	14,982,748	14,466,806
電子記録債権	116,077	398,545
商品及び製品	5,559,425	5,871,308
仕掛品	610,688	822,536
原材料及び貯蔵品	136,899	133,610
繰延税金資産	371,108	260,997
その他	176,618	283,354
貸倒引当金	△7,959	△3,113
流動資産合計	29,707,577	30,094,892
固定資産		
有形固定資産	2,608,413	2,825,734
無形固定資産	282,951	282,919
投資その他の資産		
投資有価証券	2,192,485	3,175,071
繰延税金資産	22,803	29,832
その他	789,458	807,889
貸倒引当金	△84,210	△85,212
投資その他の資産合計	2,920,537	3,927,581
固定資産合計	5,811,901	7,036,235
資産合計	35,519,479	37,131,127
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,839,026	11,394,222
短期借入金	3,123,589	2,937,409
1年内返済予定の長期借入金	1,220,000	1,420,000
未払法人税等	118,117	64,540
賞与引当金	265,884	118,869
工事損失引当金	1,709	17,910
その他	1,430,437	1,224,840
流動負債合計	16,998,765	17,177,793
固定負債		
長期借入金	3,970,000	4,705,000
繰延税金負債	144,383	424,006
退職給付引当金	537,537	449,159
役員退職慰労引当金	216,625	214,250
その他	539,344	712,340
固定負債合計	5,407,889	6,504,756
負債合計	22,406,654	23,682,550

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,235	3,120,235
利益剰余金	6,953,972	6,480,476
自己株式	△416,584	△417,682
株主資本合計	12,819,442	12,344,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	484,508	1,076,140
為替換算調整勘定	△191,126	27,588
その他の包括利益累計額合計	293,382	1,103,729
純資産合計	13,112,824	13,448,577
負債純資産合計	35,519,479	37,131,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	42,877,130	43,033,066
売上原価	38,115,234	38,301,692
売上総利益	4,761,895	4,731,373
販売費及び一般管理費	4,628,140	4,913,284
営業利益又は営業損失 (△)	133,754	△181,910
営業外収益		
受取利息	1,224	1,058
受取配当金	37,355	45,305
為替差益	—	127
その他	61,301	65,029
営業外収益合計	99,881	111,519
営業外費用		
支払利息	118,446	109,866
為替差損	67,475	—
債権売却損	25,083	16,104
その他	34,278	32,467
営業外費用合計	245,283	158,438
経常損失 (△)	△11,647	△228,829
特別利益		
固定資産売却益	18,884	2,318
投資有価証券売却益	—	26,452
投資有価証券清算益	—	6,978
特別利益合計	18,884	35,749
特別損失		
固定資産売却損	2,153	—
固定資産除却損	5,914	30,819
特別損失合計	8,068	30,819
税金等調整前四半期純損失 (△)	△831	△223,900
法人税、住民税及び事業税	62,566	97,419
法人税等調整額	92,709	60,644
法人税等合計	155,276	158,064
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△156,107	△381,964
四半期純損失 (△)	△156,107	△381,964

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△156,107	△381,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,867	591,631
為替換算調整勘定	62,555	218,715
その他の包括利益合計	73,423	810,346
四半期包括利益	△82,684	428,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82,684	428,381

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T 部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	32,847,338	3,800,867	6,228,924	42,877,130
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,027	9,110	888	17,026
計	32,854,365	3,809,978	6,229,812	42,894,156
セグメント利益	516,885	101,916	340,767	959,569

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	959,569
全社費用(注)	△825,815
四半期連結損益計算書の営業利益	133,754

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	商事部門	I T 部門	製造部門	合計
売上高				
（1）外部顧客への売上高	34,318,628	3,321,805	5,392,632	43,033,066
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	14,265	14,777	2,371	31,414
計	34,332,893	3,336,583	5,395,003	43,064,481
セグメント利益	446,883	203,119	187,201	837,203

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	837,203
全社費用（注）	△1,019,114
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△181,910

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。